

10 月
5 日(日)

認知症啓発活動 RUN 伴に参加しました



認知症への理解を深め、安心して暮らせる街を目指す啓発イベント「RUN 伴まちだ」が開催されました。鶴川第 1 高齢者支援センターは母体施設の第二清風園とともに鶴川・薬師台コースで参加しました。鶴川サナトリウム病院をスタートして走ってきたランナーさんたちを盛大に出迎え、いったん休憩。しっかり水分をとってから、認知症カフェ『おれんじドア』の参加者さんやサポーターさん、職員も加わって次の中継地点である『おはなぽっぽクリニック』を目指して出発！

短い距離ではありましたがみんなでわいわい楽しく参加することができました。最終ゴールのシバヒロまでは走れませんでした、町田がオレンジ色に染まっている姿を想像してみなさん帰路につきました。



9 月
27 日(土)

地域の見守りを考える 見守り交流会を開催しました

鶴川市民センターにて、地域の見守りに携わっている市民の皆様にお集まりいただき、見守り交流会を開催いたしました。

冒頭、支援センターより見守りの必要性について説明し、「見守りかるた」や「あんしんキーホルダー」の活用等を紹介しました。続いて、今回の講師である町田警察署 生活安全課 特殊詐欺対策本部 島田 利幸氏による講義「電話を使った特殊詐欺の被害者とならない為に」を行っていただきました。町田市の被害は深刻であることが示され、大切なポイントとして「電話に出ない」ことが強調されました。電



話による詐欺被害は、高齢者が被害に遭うイメージがありますが、近年は若年層にも被害が広がっています。予備知識があっても、いざ電話に出てしまうと相手に引き込まれてしまうことから、電話に出ない、留守番電話を活用する、たとえ警察や行政を名乗っても一度電話を切って正しい電話番号を確かめて掛け直す等、具体的な対策法を学びました。

後半ではグループに分かれて意見交換を行い、普段の見守りでの苦労や、工夫のアイデアなど、活発な意見が交わされ、有意義な交流の場となりました。